

製品安全データシート

作成日 2005年 5月 7日

1. 製品及び会社情報

製 品 名 : フマキラーND-03
(販売名 : ノミ・ダニフマキラー3)

会 社 情 報 : 会社名 フマキラー株式会社
住所 広島県佐伯郡大野町梅原1-11-13
担当部門 品質保証室
担当者 高田 美啓
電話番号 0829-55-3438
FAX番号 0829-55-2432

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
一 般 名 : フマキラーND-03 (容量2L) 混合物
成 分 含有量 別 名
エタノール 95~98% エチルアルコール
フェノトリン 1%以下 3-フェノキシベンジル d-シス/トランス-クリサンテート
MGK-264 1~5% N-(2-エチルヘキシル)-ピピクロ[2,2,1]-ヘプター-5-エン-2,3-ジカルボキシミド

成 分	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	C A S No.	化学物質管理促進法 第一種指定化学物質	労働安全衛生法 57条の2第1項通知対象物
エタノール	(2)-202	64-17-5	対象外	政令番号第62号
フェノトリン	4-(7)-998	26002-80-2	対象外	対象外
MGK-264	5-95	113-48-4	対象外	対象外

危 険 有 害 成 分 : エタノール

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性 : 引火性

有害性 : 蒸気を吸入すると麻酔剤として働き、繰り返しさらされた場合粘膜への刺激、めまい、感覚鈍麻、頭痛などを起こす場合がある。

環境影響 : 魚介類に対し毒性あり。

物理的及び化学的危険性 : 引火しやすい液体、上記は空気と一定量混合すると爆発性混合ガスとなる。

特定の危険有害性 :

4. 応急措置

吸入した場合 : 多量の場合は速やかに新鮮な空気の場所に連れて行き深呼吸をさせる。状況に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 触れた部分を石鹼で洗い、水で洗い流す。

目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗眼し、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

一般的な措置として、速やかに必要な個所に連絡し応援を求める。

消火剤 : 水、乾燥砂、粉末、二酸化炭素、泡、ハロゲン化物

特定の消火方法 : 消火活動は必ず風上から行い、空気を遮断する方法で消火する。

消火を行う者の保護 : アルコールを含有するので、消火の際は必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 粘膜への刺激、めまい、感覚鈍麻、頭痛などを起こす場合がある。

環境に対する注意事項 : 魚毒性あり。

回収, 中和, 廃棄方法 : 措置は保護メガネ、防毒マスク、ゴム手袋、保護靴等の保護具を着用して行い、オガクズ、土砂等の適当な吸収材で直ちに吸着させる。その後、汚染した箇所を多量の水で洗い流す。使用した吸収材、洗浄水は全て密閉できる容器に回収する。廃棄は「廃棄上の注意」の項に従って行う。

2次災害の防止策 :

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 (取扱い者の暴露防止、火災・爆発の防止など : 大量の取扱いの場合)

1. 火気のそばで取扱い及び保管をしないこと。
2. 引火しやすいので必ず手動式噴霧器 (ハンドスプレー等) を使用すること。
3. 薬液が乾くまでは下記を近づけない。
4. 電気火花が発生しそうなどところでは電源を切ってから使用する。

注意事項 (製品の使用時の注意)

1. 人体に向けて噴射しない。また、噴霧を直接吸入しない。
2. 繰り返し使用する場合には1週間以上の間隔をあけて使用すること。
3. 使用中は室内を開放し、使用する人以外の入室をさげ。使用後は室内の空気を外気と交換後入室する。
4. 本剤と他の薬剤を混合したり過熱したりしないこと。
5. ガス警報機に反応する場合がありますので、使用時にはポリ袋などで警報機にカバーをする。
6. 定められた使用方法・使用量を必ず守る。

安全取扱い注意事項 (混合接触させてはならない物質など)

1. 強酸化剤。

保管

適切な保管条件 (大量保管の場合)

1. 法 (消防法) の基準に従った貯蔵を行うこと。
2. 危険物の指定数量 (アルコール類は400L、製品に換算すると100ケース) 以上の貯蔵および取扱いについては、危険物関係法令に定められる貯蔵、取扱いの技術基準に従うこと
3. 指定数量の1/5を超える危険物の貯蔵および取扱いについては、市町村の火災予防条例に定められる貯蔵、取扱いの技術基準に従うこと。
4. 危険物を貯蔵する場合の容器 (ダンボール箱) の積み重ね高さは、3m以下とすること。
5. 火気、火花若しくは高温体との接近、過熱を、避けること。

適切な保管条件 (家庭などでの保管の場合)

1. 飲食物、食器などと区別し、子供の手の届かない場所に保管すること。
2. 火気や直射日光を避け、温度の低い場所に保管すること。引火・爆発のおそれがあります。

安全な容器包装材料

該当しない

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 : ACGIH (TLV) …エタノール 1000ppm

保護具 : 特になし。

9. 物理的/化学的性質

物理的状态

外觀、性状: 無色透明な液体。

臭 い: エタノール臭を有する。

p H: 該当せず。

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲: 沸点78.32°C

引火点: 13°C

爆発特性: 下限3.3vol%～上限19.0vol% (エタノール)

密度: 0.792 ~ 0.812

水に対する溶解度: 有効成分の一部不溶

10. 安定性及び反応性

安定性: 自然条件下で安定

反応性: 強酸化剤と激しく反応

避けるべき条件: 高温、火気

危険有害な分解生成物: 条件によっては一酸化炭素が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性:

フェノトリン:

急性経口 LD₅₀ ラット ♂♀ > 5,000 (mg/kg)

急性経皮 LD₅₀ ラット ♂♀ > 5,000 (mg/kg)

MGK-264:

急性経口 LD₅₀ ラット ♂♀ > 4,980 (mg/kg)

急性経皮 LD₅₀ ラット ♂♀ > 8,000 (mg/kg)

エタノール:

急性経口 LD₅₀ ラット 7,060 (mg/kg)

局所効果:

フェノトリン:

刺激性 うさぎ 皮膚-なし 眼-なし

MGK-264:

刺激性 うさぎ 皮膚-軽度の刺激 眼-なし

エタノール:

刺激性 うさぎ 皮膚-軽度の刺激 眼-中度の刺激

感作性: 知見なし

変異原性:

エタノール: 経口 TDL₀ マウス 320 (mg/kg)50週 発ガン

催奇形性:

エタノール: 経口 TDL₀ ラット 44 (g/kg)妊娠、7~17日 発育異常

12. 環境影響情報

生態毒性: 魚毒性は以下の通り

フェノトリン コイ TLm₄₈ 0.13ppm

13. 廃棄上の注意

- 少量廃棄の場合は、火気のない戸外で中身の液をポリ袋に入れた新聞紙などに染み込ませ、エタノールが気化してなくなるまで放置する。薬剤の染み込んだ新聞紙は可燃性のゴミとして、容器・スプレーはプラスチックごみとして捨てる。
- 大量に廃棄する場合は、着火源となる火気や静電気の発生を防止した処理設備で、防爆構造の破砕機等を使用し、排出された可燃性ガスが爆発濃度に達しないよう措置を講じて行う。回収される液体は危険物のため、消防法等の基準に従って適切に取り扱い、廃ガス処理設備のついた焼却炉で焼却する。

14. 輸送上の注意

国際規制 :
国連分類・番号 : クラス 3 (引火性液体) ・ 1 1 7 0 エタノール
国内規制 :
消防法 : 消防法 第4類 アルコール類 危険等級 2
港則法 : 規則第12条 危険物告示別表 5 引火性液体類 (中)
航空法 : 規則第194条 危険物告示別表 3 引火性液体 (引火点 60.5℃以下)

輸送の特定の安全対策及び条件 :

1. 引火性液体を含有しているため、「火気厳禁」
2. 容器の破損、漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み荷くずれの防止を確実に行うこと。
3. 消防法により第1類および第6類の危険物との混載禁止。

15. 適用法令

消防法 第4類 アルコール類
薬事法

16. その他の情報

上記資料の出典 : エタノール MSDS
フェノトリン MSDS
MGK-264 MSDS

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものでもありません。また、注意事項は通常取扱を対象としたものです。この製品安全データシートは法令の改正、新しい知見にもとづいて改訂されることがあります。